熊歯会報

December 2019
12
No.762

熊本県歯科医師会
Kumamoto Dental Association

笑顔ヘルC写真コンクール会長賞「おいしー！」

CONTENTS

- 巻頭言（常務理事　松本 信久）……3
- 理事会報告……4
- 報告……7
- 委員会報告……8
  （社会保険、医療対策、厚生・医療管理）
- 笑顔ヘルCキャンペーン……12
  （上益城郡、人吉市、水俣・芦北郡市）
- 郡市会報告……14
  （熊本市、天草郡市、玉名郡市）
- リレー投稿㊱……17
- 訃報……18
- 新入会員……18
- 会務報告……19

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

令和元年度 笑顔ヘルC写真コンクール会長賞
平田 紘美さん「おいしー！」の写真です。

子供の純粋で愛らしい笑顔は本当に癒されますね。

この他にも優秀賞１点、奨励賞１点、佳作５点の８点を本会ページに掲載しています。是非ご覧ください。

（K. M）

ご支援、ご協力、連携必要不可欠

常務理事　松本 信久

この度センター介護委員会及び地域保健委員会を担当することになりました、常務理事の松本です。会員の皆様には日頃より委員会活動にご理解をいただき感謝申し上げます。

さて、高齢化社会に対応すべく地域包括ケアシステムの構築に向け各種団体、行政等と様々な取り組みを現在行っているのは皆さまご存じの通りです。歯科医師会にとりましても多職種連携を進めていくことは重要な課題であります。特に在宅診療に関係するケアマネ協会との協力体制、各保健所圏域に設置されている在宅医療サポートセンターとの連携をいかに構築していくかが今後の課題と考えています。在宅歯科医療に関しては、医療と介護の総合確保基金を使い、今年度より２つのモデル地区（今年度は菊池郡市歯科医師会と八代歯科医師会）を選定し、地区における課題を抽出し、その地区に合った連携の取り組みを始めるところでございます。今後同様の取り組みを県下すべての郡市歯科医師会で展開し多職種連携を進めてまいります。また、早産予防事業、ヘルＣキャンペーン事業、8020支援事業、後期高齢者歯科健診事業等に取り組み、県民の皆様の健康維持に貢献しながら会員の皆様へは患者数の増加につながるような事業を展開し会務を遂行していこうと思っています。皆様もご存じのように8020運動はかなり達成されているようで80歳で20本歯が残っている高齢者は年々増加し２人に１人以上が達成しています。今後は8020運動と共にオーラルフレイル、口腔機能低下症にも後期高齢者の健診事業を通し対策を講じていこうと思います。また高齢化に伴い認知症による自歯による潰瘍形成、脳溢血による血液製剤の弊害等人生の終活と共にお口の終活も進める必要性を感じています。地域保健委員会、センター介護委員会共に行政からの委託事業を現在行っていますが、同じような事業は統合し、委託事業の簡略化も同時に進めていこうと考えています。またかねてよりの懸案事項でありました口腔保健センターの補助金問題及びスタッフの常勤化問題でありますが、菅原洋元センター長時代に企画された熊本県障がい児（者）歯科保健推進協議会での議論がようやく実を結び、今年度より医療と介護の総合確保基金を使って常勤歯科医師１名と常勤歯科衛生士２名を配置できるようになりました。今後は口腔保健センターが熊本県における障がい者歯科診療の拠点施設となれるように整備をしていく予定であります。また行政からも要望がありますように、会員及びスタッフの研修の場としても充実していこうと考えています。障がいをお持ちの方の歯科診療にご興味のあられる歯科医師及び歯科衛生士の方は是非センターにお越しください。最後に、会の運営がスムーズにいく為には事務局の力が大いに必要になってきます。現在、退職者や病気療養中の職員の分まで皆さん頑張ってくれていますので、新役員とともに事務職の皆さんへのご支援もよろしくお願いいたします。

県民の為、会員の為に任期を精一杯頑張らせていただきます！

理事会報告

慌てず、じっくりと事業の遂行を目指して

― 第６回理事会 ―

10月25日（金）午後６時から県歯会館において、伊藤会長他全役員出席のもと開催された。

１．開会：椿副会長

２．挨拶：伊藤会長

台風15号・19号がもたらした被害は大変怖いものであり、毎年何十年に一度という規模の災害が発生しております。我々も平成28年熊本地震を経験しました。次は白川の堤防が決壊することは無いとは思いますけれども、そうした危機管理も考え直す必要があるかと考えております。日歯ではすぐに災害対策本部を設置して、歯科用支援物資の送付等を行いました。本会でも、福島県歯や長野県歯・長野市歯の専務理事等と直接連絡を取り合って、支援物資を送付しました。後日、各県・市の会長より御礼のお言葉を頂きました。また、昨日は日歯の理事会が開催され、理事である海野福島県歯会長が支援物資への御礼のお言葉を述べられました。さて、本会の事業は実施すべき事が多くございますが、よく考えながら、慌てず、じっくりと事業を遂行していただきたいと思います。それでは、本日もよろしくお願い申し上げます。

３．議長選出：伊藤会長

４．議事録署名人：増田・水上監事、伊藤会長

５．令和元年度会務報告：

（自：９月21日～至：10月20日）

本会総務：理事会、常務理事会、各郡市会長・専務理事連絡会議

学　　術：九州各県学術担当者会

社会保険：九州各県社会保険担当者会

地域保健：九州各県地域保健担当者会

広　　報：『熊歯会報』11月号の編集・校正、九州各県広報担当者会

学校歯科：全国学校歯科保健研究大会

医療対策：医療相談・苦情事例報告、九州各県歯科医療安全対策担当者会

センター・介護：九州各県地域保健担当者会

厚生・医療管理：九州各県医療管理担当者会

医療連携：医療連携委員会

学　　院：学院高校推薦・指定校推薦入学試験

以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項：

１．退会会員

⑴　牛島 瑛久　会員（第３種／下益城郡／吉永歯科医院）令和元年10月30日　他県へ転居の為

⑵　山本 真　会員（第１種／熊本市／白十字歯科医院）令和元年10月13日　逝去62歳

２．学院の什器に係る火災保険契約

火災保険契約について、９月までに契約を更新した方が10月以降の更新と比べて保険料が安いため、９月末日に５年契約で更新したことを報告した。

３．タウンミーティングへの対応

各郡市で開催するタウンミーティングの日程を報告した。

４．飲酒運転・交通違反に関する服務規律

役員に対し、服務規律に沿った行動を心掛け、法令遵守を徹底する様あらためて呼び掛けた。

5．事業実施報告

⑴　シニア倶楽部（９月14日）厚生・医療管理委員会

⑵　合同就職説明会（８月25日）厚生・医療管理委員会

⑶　安全な歯科医療を提供するためのバイタルサインセミナー（９月１日）学術委員会

⑷　がん及び回復期の医科歯科連携事業（８月末）

6．厚生・医療管理委員会より事業企画書

令和２年２月22日（土）午後３時より県歯会館にて、「（仮題）歯科医院に必要なマナー～アンガーマネージメントを交えて～」を開催することを報告した。

7．後期高齢者歯科口腔健康診査事業の広報

後期高齢者医療広域連合が３月28日にＫＫＴの番組「医療ナビDr.テレビたん」で後期高齢者歯科健診について紹介することに伴い、本会へ協力依頼があった。健診の様子や説明等、全面的に協力することを報告した。

8．千葉県歯会に対する九州地区からの義援金

千葉県歯会に対して九州地区から100万円を一旦九地連から立て替える形で、各県会長の連名で送金する旨が九地連より連絡があり、本県より九地連へ立替分の10万円を送金したことを報告した。

9．９月末会計現況

10．その他

●歯科医院におけるキャッシュレス決済

キャッシュレス決済は患者側にはポイント付与等のメリットがあるが、歯科医院側には手数料が発生するデメリットがある。会員にはニュースレターでキャッシュレス決済について周知する。また、今後会員の多くが加入した後、日歯が事業者と手数料の交渉等をする場合に交渉が難しくなることが考えられるので、役員から会員の先生に対してまだ加入しないよう呼び掛けることをお願いした。

●熊本県学校保健会協力寄附金の状況

多くの先生方のご協力により、総額1,386,000円（188名／462口）が集まったことを報告した。

●在宅歯科医療連携室連携強化事業

在宅歯科医療連携室連携強化事業の一環として菊池郡市で研修会を今後開催する予定である。しかし、地元業者も他県から講師を招いて自社の福祉施設で同様の研修会を開催するという情報を得たため、本会・菊池郡市歯会で申し入れを行い、研修会は中止された。

7．連絡事項：

1．11月行事予定

2．臨時代議員会スケジュール（令和２年３月）

３月28日（土）午後４時より開催することを報告した。

3．その他

●役員の言動・態度

ある会員より上から目線でモノを言う理事がいるとご指摘を受けた。たとえ本人に全くそのつもりが無くても立場上厳しい目で見られるので、言動・態度にはくれぐれも注意して謙虚に振舞うことをお願いした。

●熊本県医療･保健･福祉連携学会の開催

熊本県医療・保健・福祉連携学会が令和２年３月７日（土）午後１時より県医師会館で開催される。

8．承認事項：

1．新入会員の承認【承認】

第１種会員２名、第３種会員２名、第４種会員１件の入会を承認した。

第１種

氏　名	医療機関名	住　所	出身大学
岡本（おかもと）　昌裕（まさひろ）	ステラデンタルクリニック	熊本市中央区神水1-25-11 北窪ビル1F	神奈川歯科大学
中津（なかつ）　由博（よしひろ）	かえで歯科	八代市古閑中町1206-2	九州歯科大学

第３種

氏　名	医療機関名	住　所	出身大学
甲斐文一郎（かいぶんいちろう）	吉永歯科医院	宇城市松橋町浦河川内824-8	福岡歯科大学
山崎（やまさき）　千晶（ちあき）	大坂総合歯科	山鹿市熊入町263-1	鹿児島大学歯学部

第４種

氏　名	医療機関名	住　所	出身大学
鶴田（つるた）　敏弘（としひろ）	熊本パール総合歯科・矯正歯科・こども歯科クリニックSAKURA MACHI Kumamoto	熊本市中央区桜町3-10 SAKURA MACHI Kumamoto 2F 216区画	北海道医療大学歯学部

令和元年度入会状況（10月末累計）
第１種会員／15名　第２種会員／５名
第３種会員／11名　第４種／１医療機関

２．第８回熊本県歯科口腔外科研修会共催【承認】
共催の許諾及び12・２月の定期発送物へのチラシ同封を承認した。

３．後援依頼【承認】
⑴　第67回「熊本小児保健研究会」
⑵　第16回熊本作業療法学会
名義後援の許諾を承認した。

４．推薦依頼【承認】
⑴　熊本県医療安全推進協議会委員　永松 聖隆 常務理事　任期：就任承諾日～令和３年３月31日
⑵　くまもと21ヘルスプラン推進委員会委員　髙水間 奨 理事　任期：前任交代～令和２年３月31日
⑶　熊本県脳卒中医療推進検討会議委員　宇治 信博 常務理事　任期：就任承諾日～令和３年３月31日
関係機関・団体の委員に推薦することを承認した。

９．議題：

１．第73回九州歯科医学大会in熊本【承認】
来年10月17日（土）に本県で開催する九州歯科医学大会の大まかな日程及びテーマ、組織図を承認した。

２．奥様医業経営塾等【承認】
保険会社より申し出があった、①震災後実施されていなかった奥様医業経営塾等を再開すること、②従来の保険に加入している会員に対して、新しい保険内容の説明に回ること、を承認した。

３．2019年度日歯災害歯科保健医療体制研修会の受講者【承認】
受講希望者５名のうち３名（山鹿市歯会１名、県衛生士会１名、行政１名）を承認し、日歯に推薦する。

４．「中国・四国」「九州」地区歯科医師会役員連絡協議会提出協議題【承認】
提出協議題への回答を承認した。

５．熊本地震被災に伴う入学金・授業料の減免補助金【承認】
熊本地震被災に伴う入学金・授業料の減免補助金事業が今年度も実施されるため、学院１学年生の保護者に案内文書を発信した。今後返信があった連絡票のうち補助金の該当者となる学生がいれば補助金申請を行う。ただし、昨年まで実施した、借家が半壊の場合に本会より¼を補助することは今年度以降実施しない。

６．その他
●日歯から台風15・19号による被害に対する義援金のお願い
日歯から台風15・19号による被害に対する義援金のお願いがあった。受付期間は10月24日から12月６日となる。会員の先生方に対して義援金への協力依頼を行うことを承認した。また、集まった義援金に本会が上乗せして日歯に送金すること、熊本地震の際に義援金をいただいた都道府県には日歯とは別に本会から各県へ義援金を送金することとした。

10．協議事項：

１．発信文書の受け取り方法【承認】
現在、受信文書は担当理事にＦＡＸ送信しているが、今後はメールで送信することを承認した。

11．監事講評：
増田監事より「次年度の概算要求が始まりますが、事業内容についても各委員会で議論を重ねて、見直すべき事項は見直すことが延いては会員の負担軽減にもなるので、よろしくお願いしたい。」、水上監事より「伊藤会長が申された役員の言動・態度については、決して卑屈になることなく、会員の話にしっかり耳を傾けてほしい。また、月例監査で気になったが、旅費交通費については必要な費用は無理をせずに遠慮なく申し出てほしい。」とお願いされた。

12．閉会：宮井副会長

（広報　神﨑 理子）

報 告

航空機事故対応訓練に参加して

― 熊本空港航空機事故対応総合訓練 ―

10月18日（金）午後２時より、熊本空港において標記訓練が行われた。この訓練は航空機事故を想定し、消火、負傷者のトリアージ、救急搬送から検視にいたる一連の流れを総合的に行うもので、２年に１回行われ、歯科医師会のほか、消防本部、日赤、熊本県警、県医師会、熊本大学など各機関が参集した。

本会からは、空港近隣の郡市歯会から渡辺洋会員、今村友信会員、児玉睦雄会員、市原誓志会員、清村龍朗会員、警察歯科医会から矢毛石陸男会員、神戸威会員、県歯からは宮井と田原事務局長の９人が参加した。我々の訓練内容は検視所における検視訓練で、県警察本部と熊本大学法医学教室との共同作業である。

歯科医師会の役割は身元確認情報を収集するため歯科学的検査を行うことである。

最初、御遺体への黙祷から始まり、御遺体の上下顎骨による検視を２人一組になって行った。検視の結果は「デンタルチャート（死後記録）」に記録。これと生前の歯科受診の記録と照合することにより身元確認を行うことになる。

歯型による身元確認訓練をおこなう参加者

ポータブルレントゲンを訓練

また今回も県警が持参したポータブルのレントゲン装置の操作も行った。その場でパソコンにより画像を確認できるため、現場では大きな戦力になると感じた。

訓練の最後には参加者全員が整列し、熊本空港長から講評があり、午後３時半過ぎに終了した。

最近は大規模な災害が毎年のように発生している。身元確認を含め、歯科医師の果たすべき役割は大きい。今回の訓練のような機会を捉え，日ごろから備えておくことは大切なことだと感じた。

（宮井 祐）

委員会報告

会員に寄り添い役立つ委員会活動を目指して

― 九州各県社会保険担当者会 ―

社会保険

10月５日（土）午後２時よりホテル・レクストン鹿児島にて、標記会議が開催された。本県からは舩津理事、野田理事、桐野委員長の３人が出席した。

西鹿児島県歯副会長の開会の挨拶で始まり、伊地知鹿児島県歯会長と林日歯常務理事の挨拶があった。座長に黒木鹿児島県歯常務理事、副座長に上原沖縄県歯理事を選出し、会議が進行された。日歯報告では、林日歯常務理事により以下の報告があった。2040年を見据えた歯科ビジョン検討会が、６月19日、８月21日、10月23日に実施されたことを報告。現在は少子高齢化が問題となっている。高齢者が増加し、生産年齢及び出生数が減少している状態で、2040年になると高齢者も含めて、全ての年齢層で人口減少が起こってきている。2040年の社会保障を見据えた重要なキーワードを挙げると以下の３つがある。

⑴　社会保障の持続可能性の確保
　負担能力に応じた負担のあり方、保険給付のあり方。

⑵　予防・健康づくり
　従来型のヘルス事業を高齢者の集いの場を中心に取り組み、健康寿命を延伸（2040年までに３年延伸）し、制度の支え手を増やす。

⑶　データヘルス改革
　医療における生産性を向上する。マイナンバー制度のインフラを活用し、個人単位で資格情報などのデータを一元管理しオンライン資格確認の本格稼動。健康・医療・介護のビッグデータと連結し、解析できる基盤整備を進める。

平成28年から平成30年までの歯科の診療行為別にみた１日当たりの点数構成割合では、医学管理・処置の増加、補綴治療の減少が見られる。平成29年から平成30年の１年間の１日１件当たりの点数は、15.2点、2.2%の増加が見られる。点数改定への対応は、学会、機構、連盟などと連携し、以下の項目の歯科特有の課題を解決していく。

会議で得られた情報を委員会で共有していきたい

１．初・再診料や既存技術の評価
２．かかりつけ歯科医機能の推進
３．質の高い在宅医療の推進
４．新たな病名・検査項目の導入
５．予防概念や口腔健康管理への対応
６．新規技術の保険収載促進
７．オンライン診療やICT技術への対応

九州各県のレセプト平均点数は、平成31年度は大分県の1,350点から鹿児島県の1,186点までの点数分布となっているが、前年度対比では、長崎県、大分県以外は減少。金パラ価格について、10月の定時改定では、1,675円/g、50,250円/30gとなっている。金パラの市場価格は小刻みな価格の上下を繰り返しながら、平成15年の約10,000円/30gから上昇しており、上昇が続く間は逆ザヤが続くことになる。令和２年度診療報酬改定に向けての議論における主なテーマは以下のものがある。

１．患者の疾病構造や受診行動などを意識しつつ、年代別に課題を整理
　①　周産期・乳幼児期（妊婦から出産、新生児、乳幼児）
　　・偶発合併症を有する妊婦の診療体制
　②　学童期・思春期（就学前、小・中学生、

高校生、大学生）
・かかりつけ歯科医機能の在り方
・口腔機能発達不全症の評価の在り方
③　青年期・壮年期・中年期
・生活習慣病患者の歯科における継続的な管理
④　高齢期
・認知症への対応
・重症度や居住形態を踏まえた更なる医療体制構築
・フレイル患者の特性に応じた取り組み
⑤　人生の最終段階
・人生最終段階における多職種による医療・ケア
・人生会議（ACP）の普及・定着

2．昨今の医療と関連性の高いテーマについて課題を整理
①患者・国民に身近な医療の在り方
・診療計画書（クリニカルパス）、明細書
・かかりつけ等連携
②働き方改革と医療の在り方
・タスクシフト、タスクシェアー、チーム医療推進
③今後の地域づくり・街づくりにおける医療の在り方
・人口減少社会における医療の在り方
・地域医療構想実現
・救急医療、災害医療、へき地医療対策
④新たなエビデンスやICT技術を踏まえた医療の在り方
・新規医療技術への対応
・ICTやデータヘルス利活用
⑤介護・障がい者福祉サービス等と医療との連携の在り方
・依存症対策
⑥医薬品・医療機器等の適正な利用の在り方
・多剤投与、重複投与、高額医薬品、OCT薬

以上の項目について、秋から第二ラウンドの中で、具体的な診療報酬における評価に向けた検討を進めている。

「経済財政運営と改革の基本方針」における歯科関係の記載では、６月21日閣議決定で、「エビデンスの信頼性の向上、フレイル対策への歯科の関わり、介護、障がい福祉関係機関との連携や保険者インセンティブのなかで歯科健診の配点割合の増加」を追加明記されている。

日歯報告に続き協議が下記の項目についてなされた。

⑴　令和元年度九州各県歯科医師会社会保険関係事業計画及び予算について
⑵　各県提出協議題について（22題）
⑶　日歯への要望及び質問について（19題）

会議は滞ることなく進み、予定時刻の午後５時に、長田鹿児島県歯専務理事の閉会の挨拶で終了した。会議で得られた情報を委員会で共有することにより、会員の先生方に寄り添い役立つ委員会活動を目指したいと思う。

（桐野 美孝）

お知らせ

事務局の年末年始休業

仕事納め：令和元年12月28日（土）午後12時30分・業務終了
年末・年始休業期間：令和元年12月29日（日）
～令和２年１月３日（金）
仕事始め：令和２年１月４日（土）午前８時30分・業務開始

委員会報告

歯科医師会も今こそ「one team」

― 九州各県歯科医療安全対策担当者会 ―

医療対策

10月19日（土）に標記会議が、福岡県歯会館にて開催された。

はじめに、大山福岡県歯会長からはラグビー日本代表チームのスローガンでもある「one team」にならって、歯科医師会も今こそ「one team」で頑張っていかなければならないと挨拶があった。

続いて三井日歯常務理事からの日歯報告があった。医療安全関連では2020年４月１日から施行される、債権関係の改正についての報告があった。注目される内容としては「生命・身体の侵害による損害賠償請求権の時効の特則」というものが新設され、具体的には人の生命・身体の侵害による損害賠償請求権の時効期間について長期化するとのことであった。

これにより損害を与えたと

①「知った時から５年」（不法行為につき３年から５年に長期化）

②「知らなくても20年」（債務不履行につき10年から20年に長期化）

というように改正されるとの報告があった。

これは歯科医院を閉院しても有効であるとのことだった。その他に医療法が改正される医療放射線のこと、医療事故調査制度についての報告があった。

各県の問題点を協議する

スタッフの業務範囲に対する問題について協議を求める椿理事

その後、各県から出された提出協議題について協議が行われた。本県より提出していた議題はスタッフの業務範囲に対する問題についてだったが、これに関しては特に各県とも頭を悩ませているようであった。三井常務理事から日歯の見解として、歯科衛生士は口腔衛生業務、実地指導のみで歯科業務はできないとの事だった。レントゲン撮影も同様、歯科医院では歯科医師のみ撮影可能であるとの事だった。この見解は本県でも、広く周知徹底しなければいけない事案である。

開催県の福岡県からは医療事故対応事例を実際に対応している弁護士の先生を加えて細かく説明がありとても有意義な報告会であった。九州８県でも１年間の苦情件数や対応の仕方も様々で県民性の違いによっても大きく左右されるのではないかと感じられ、本県でも他県を参考にして変えていくところは柔軟に変更していかなければいけないと考えさせられた。

最後に次回開催県である橋本長崎県歯理事からの挨拶があり会議を締めくくった。

（椿 賢）

委員会報告

有意義な会議、熊本開催

― 九州各県医療管理担当者会 ―

厚生・医療管理

10月５日（土）午後２時より県歯会館４階ホールにおいて、標記会議が開催された。永松常務理事の開会の辞の後、宮井副会長より挨拶があった。

その後、座長に牛島専務理事、副座長に崎山宮崎県歯常務理事を選出。三井日歯常務理事より日歯報告があった。

内容は次の通りである。

＜消費税とキャッシュレス＞

①医療法における病院等の広告規制について

②療法改正

・医療放射線の適正管理

・検体検査の精度管理

③医療被曝適正管理のあり方について

④歯科衛生士の復職支援関係

その後、協議に移った。

⑴　令和１年度各県医療管理関係事業計画及び予算について

⑵　各県提出協議題について

１　「働き方改革」について

①働き方改革関連法に伴う会員への周知等、労働基準監督署の指導等について

②年次有給休暇の取得の義務化について

③各県の対応について

２　医療管理分野の会員向け講習会について

３　歯科衛生士復職支援・早期離職防止について

４　施設基準に関わる研修会について、県歯レベルでどのように対応しているか

５　消防署の立ち入り検査について

６　求人広告トラブルについて

７　外国人患者を受け入れ可能な医療機関リストについて

８　大規模災害時における多数死体検視訓練について

本県開催の為、全委員出席

９　補助金・助成金関連について

10　保健所の立ち入り検査について

⑶　日歯への要望及び質問について

１　診療用放射線に係る管理指針の作成について

２　歯科衛生士の人材確保に向けての世間へのPR活動の強化について

３　キャッシュレス時代への対応について

４　歯科技工士の資格に「診療の補助」の追加の提案と臨床実習・研修制度の実施について

５　外国人患者への対応について

６　Web上での評価トラブルについて

７　分院とファシリティマネージメント契約について

８　「民法（再建関係）の改正」に関して

協議題は多く、広範囲で、その上活発な意見交換があり大変有意義な会議であった。時期的に消費税関連・キャッシュレス関連についても日歯より回答をいただき、大変参考になった。

その後、次期開催県挨拶、そして椿誠副会長の閉会の辞をもって会議は終了した。

（池嶋 由希）

笑顔ヘルＣキャンペーン

上益城郡　歯科医院の定期受診のきっかけになれば

10月27日（日）午前９時から、イオンモール熊本において標記イベントを歯科医師、歯科衛生士合わせて24人で開催した。毎年、歯科相談・健診を行い歯の健康の重要性に関する啓発を行っている。今年は特にブラッシング指導にもっと力を入れようと歯科衛生士に奮闘してもらった。

近所に住んでいるからと毎年来られる方もいれば、県外から来られている方もおり、今年も350人以上の来場者があった。また、今年は同モール内でハロウィンのイベントがあっており恐竜やゾンビなど様々な仮装をした子供たちが多く来てくれて、例年とは違う雰囲気で、一味違う盛り上がりをみせるイベントとなった。

相談内容を見てみると、お口の悩みは無いが久しく歯科医院に行ってないので悪いところがないか健診して欲しいという内容も多かった。症状がないのに歯科医院を受診するのは勇気がいるとの意見も少なからず見受けられた。定期健診の重要性をもっと啓発していく必要を感じた。

来場者に“笑顔”でブラッシング指導

（堂上 哲矢）

人吉市　歯科の大切さを市民にアピール

― 2019年度糖尿病予防フォーラム人吉球磨 ―

人吉市歯会は、10月13日（日）人吉市内の堤病院九日町駐車場で医師会、薬剤師会と共に標記フォーラム人吉球磨に参加した。人吉球磨は、糖尿病患者さんが多い地域でもあり、今回は「あなたの体は健康ですか」と題し歯科相談コーナーとして歯科医師会から地域医療対策の先生方、田中勝久理事を中心に球磨郡歯会の先生方も参加されて人吉市、球磨郡両歯会の合同開催で行われた。当日は、「第８回とっておきの音楽祭」が近くであり、健康に関心のある市民の参加があり、関心の深さが見られた。会場では、お薬相談、体脂肪測定、栄養相談、自己血糖値測定、血圧測定などがあり、多くの市民の方々で賑わった。歯科相談では、歯科健診、相談、歯周病セルフチェック体験、ペリオスクリーンを行い多くの方が来場し、糖尿病と歯科の関係の重要さも少しずつ浸透してきたと思われた。今後の医科歯科薬剤分野との啓発活動充実が期待される。

笑顔でイベントに参加する地域住民

（御手洗 肇）

水俣・芦北郡市　関係団体も多数参加

11月３日（日）午前９時30分より午後３時まで水俣市もやい館にて地元の医師会・薬剤師会・歯科衛生士会・看護協会・栄養士会・理学療法士作業療法士会・在宅支援部会・グリーンコープ生協･地域動物愛護推進協議会･婦人会などの関係団体が参加し、「水俣市健康まつり」が開催された。

歯科医師会と歯科衛生士会は歯科相談とフッ素塗布を行った。また午前中には「糖尿病について」のフォーラムもあり、水俣芦北歯会の永田専務理事が意見交換を行った。

当日は天候も良好で、来場者も多く、開始前より行列があり、終了時間まで人が途絶えることがなかった。健診･相談は100人を超え、

歯科健診コーナーには多くの来場者が行列をつくった。

歯科衛生士会の相談やフッ化物塗布のコーナーもそれ以上の来場者があった。毎年このイベントに参加し、楽しみにしている方も多くみられた。

（伊藤 延隆）

お知らせ

「日歯メールマガジン」、「県歯メールニュース」への配信登録のお願い

日歯からは会員への情報公開・伝達サービスの一環として、メールマガジンを配信しています。

さらに、本会からは主催する講演会情報を中心に、メールニュースを配信しています。

配信登録は日歯ホームページのメンバーズルームや県歯ホームページの会員専用ページから可能ですので、この機会に是非ご登録をお願いします。

熊本市歯科医師会

それぞれの会の役割と現状について

― 三歯会　第一回合同講演会 ―

９月28日（土）午後３時より、県歯会館４Ｆホールにて標記講演会が開催された。宮本会長の挨拶後、歯科医師会、歯科衛生士会、歯科技工士会それぞれより、計７人の演者による講演が行われた。また熊本歯科技術専門学校からも多数の参加があった。

熊本市歯会の髙松専務理事、県歯科衛生士会の佐藤成美熊本市支部長、そして熊本市歯科技工士会吉村光男会長より、それぞれの会の役割と現状、活動報告についての講演が行われた。

熊本市歯会の山口英司学術委員会委員長からは、「経過観察の意義とメインテナンス時の視点」と題し経過を観察して行く上での規格性の重要性や長期的な医師―患者関係を実現させるシステムづくり、メインテナンス時のチェックポイントなどについての講演があった。

熊本パール総合歯科こども矯正歯科クリニックの山本温子歯科衛生士は、「チームアプローチにおける治療の流れ」と題して具体的な症例を挙げられた。患者を中心として、歯科衛生士、歯科技工士、歯科医師のチームアプローチが患者の幸せにつながった経験について講演された。

株式会社愛歯の渡邊裕士技工士からは、「模型と印象」と題して再製からの学びとして、技工サイドが原因で再製になる場合とその他の原因で再製になったと考えられる場合についての考察を交えての話があった。

共愛歯科医院の園田隆紹先生は、「超高齢社会での介護現場における歯科技工士、歯科衛生士との連携」と題して訪問診療の現場であっても、チェアータイムの短縮や患者への負担軽減に歯科技工士の協力は非常に重要であることや、歯科衛生士が訪問の現場に関わり続けることで予防だけでなく患者の継続的なリスク管理を行うことができる可能性について示唆された。

講演会後の懇親会はGRILL de GYANにて、32人参加のもと盛大な盛り上がりの中行われ、それぞれ親睦を深めることができた。

（藤岡 洋記）

天草郡市歯科医師会

生まれる前から続いている！

― 第61回歯牙供養祭 ―

10月５日（土）午後２時より天草市の東光寺にて標記イベントが行われた。今年還暦を迎えられた森口会長は祭文奏上の中で「自分が生まれる前から続いているこの歯牙供養祭は先達の先生方から連綿と受け継がれており、歯科疾患と全身の因果関係が広く認識されるようになった昨今、益々の歯科の重要性が高まっている。」と話された。続いて住職の読経が流れる中、会員一人一人が焼香を行った。その後住職から「ありがとうの対義は当たり前。当たり前のことと思い込まず、常に感謝する気持ちを持って研鑽することが大事。」とのお説教を頂戴し、各々に歯牙に対する思いを再認識しながら第56回天草歯科医学大会の会場へと移動した。

歯牙に対する思いを再確認した会員

（松原 崇士）

天草郡市歯科医師会

歯科はチーム医療！！

― 第56回天草歯科医学大会 ―

10月５日（土）午後３時より、プラザホテルアネックスにて標記会が行われた。北九州市八幡西区開業の上野道生先生をお招きして「より確実な診断・治療の為に～経過観察から学ぶことの大切さ～」という演題でご講演頂いた。

開業されて40年を迎え、スタディグループの北九州歯学研究会で研鑽を積まれ、臨床技術も高度で、提示された長期経過症例は感嘆の連続であった。患者さんに継続してメンテナンスに通って頂く為に何をすべきか、その為には経過観察の重要性を強調された。臨床記録をしっかり取る事で、提示された長期経過症例の口腔内写真、レントゲンはどれも一定の規格性があり、経年変化が一目で分かるとても素晴らしい記録であった。その記録を包み隠さず患者さんに提示、説明する事で患者さんの理解も深まり、信頼性がより高まり、生涯通って頂く医院システムが出来ていると感じた。

メンテナンス時に着目するのは、徹底したプラークコントロールである。ブラッシングの気持ち良さを実感してもらう事、術者側が気を付けるのは、炎症と力のコントロールではナイトガードも多用されていた。咬合力が強い方には日中、歯が触れないように気を付けるよう自己暗示させることも大切で経年的に欠損を拡大させない。少数歯欠損の場合はインプラント等臼歯部の咬合支持を獲得し前歯部を守る事、多数歯欠損の患者さんには義歯にマグネットを併用し、支台の負担を最小限に留める事等が大切になる。40年で蓄積されたノウハウが余すことなく披露された。中でも「基本的な治療原則を忠実に納得のいくまで確実に行う事で診療目的の大半は達せられる」というお言葉は非常に胸に刺さった。

スタッフに感謝を誓う

次は医院スタッフの話を中心とした講話が行われた。歯科の総合力を高めるのは院長の努力だけでは当然難しく、スタッフのモチベーションだと話された。上野歯科医院には15人のスタッフがおられ奥様も歯科医師で、受付は医院の看板で電話対応が非常に重要、歯科衛生士も勤続30年を超す方もおられる。中でも非常に感銘を受けたのは、スタッフの娘さんも歯科衛生士となり、親子で働いている方もおられた事である。歯科技工士、歯科助手も一丸となって患者さんに感動を与える歯科医院を目指しておられ、まさにチーム医療だと心から感じた。仕事面だけではなく、年数回の食事会、医局旅行、毎年秋の運動会も開催されておられ、公私共に仲睦まじい様子が写真から伝わり、羨ましく思った。これだけ優秀なチームを統率されるのも、やはり上野先生自身のお人柄、診療にかける情熱があってこそだと心から感じた。あっという間の２時間半の講演で、非常に勉強になった。

その後懇親会場に場所を移し、夜遅くまで大いに盛り上がった。

（松原 崇士）

玉名郡市歯科医師会

狙うはストライク！！

― ボウリング大会 ―

10月18日（金）玉名市の司ボウルにて毎年恒例の標記大会が開催された。今年は総勢60人の参加があり、おおいに盛り上がった。高崎会長がストライクとなる渾身の始球式を決め会場がどよめく中、午後７時にゲームスタート。会員およびスタッフや子供たちの大きな歓声とため息、ボールがピンを倒す快音が響き、最近の秋の夜の肌寒さを吹き飛ばすような熱いゲームが繰り広げられた。団体賞の順位は１位・さくら歯科　２位・大林歯科　３位・森歯科であった。これは補足だが個人のブービー賞は１位・坂口会員　２位・神崎会員　３位浅野会員とドクターの頑張りがチームの順位の明暗をはっきり分けた結果となった。そしてここに大御所先生達への忖度が働いたということでは決してないことを付け加えておく。その後はつかさの湯の２階宴会場に場所を移し、永年勤続スタッフの表彰式およびボウリング大会表彰式が行われ、日ごろのスタッフへの感謝をこめた懇親会が行われた。永年勤続者は20年２人、10年２人、

司温泉宴会場にて　高崎会長の乾杯から宴会スタート！

５年６人で表彰状と記念品が授与された。

ボウリングの成績発表では個人の１，２，３位のほかキリ番賞やブービー賞、理事の先生方より自腹で準備された豪華商品をめぐって高崎会長や大林専務理事の掛け声のもと大いに盛り上がった。スタッフといつもの診療室を離れ、楽しい時間を過ごすことが出来、日ごろ頑張ってくれていることへの感謝の気持ちを噛みしめながら盛況のうちに終了した。

（浅野 司）

14人参加にて開催

― 福寿会 ―

10月25日（金）午後７時より玉名温泉「尚玄山荘」にて福寿会が開催された。この会はその年に古希を迎える会員を新入会員としてお迎えして、長寿をお祝いすると共に会の発展へのご尽力に感謝を表す場として宴席を設けている。今年度は１人増えて13人となった。福寿会会員と執行部合わせて14人の参加であった。

会が始まる前に参加者全員で記念写真を撮影した。まず髙﨑会長より挨拶がありその中で、各世代における時代背景にふれ、参加者一人ひとり詳しく解説された。次に福寿会会員５人からそれぞれお言葉をいただいた後、乾杯の発声を犬束副会長が務め宴会に移った。

宴会ではおいしい料理にお酒も進み、会の思い出やお互いの近況などを語り合った。楽しい

参加者全員笑顔で記念写真

時間はあっという間に過ぎ最後に大林専務の万歳三唱でお開きとなった。

来年も皆さんが健康で元気に参加されることを願う。

（永廣 有伸）

リレー投稿 36

来年の大河は光秀がくる！

玉名郡市　山本　浩喜

皆さんNHK大河ドラマは観ていますか。今年は2020年に東京オリンピック開催と言う事で「いだてん」が放送中ですが、来年の大河ドラマは誰を主人公に作られるかご存じでしょうか？ 10月号で玉名の福地先生のリレー投稿にもありましたが、明智光秀が主人公の「麒麟がくる」が１月から放送されます。光秀といえば、戦国時代最大のミステリーの一つで、主君の織田信長を討った「本能寺の変」が有名です。この事件について、勝手な見解を入れて投稿させて頂きます、素人のたわごとと思って聞き流してください。

光秀がなぜ主君である織田信長を殺害しようと考えたのか、動機には色々な説があります。

①怨恨説

他家臣の面前で罵倒されたり殴られたり長年の恨みが蓄積され一気に爆発して衝動的に殺害に及んだという説

②ノイローゼ説

信長による家臣の切り捨てや国替えをみて、いつか自分もという精神的な圧迫を受けたストレスから冷静な判断力を欠いて起こしたという説

③野望説

この当時畿内にはライバルとなる武将がおらず、天下を取るには最大のチャンスと考え謀反を起こしたという説

1980年代までは光秀の単独犯行説が主流でした。

ところが1990年代頃から、この謀反には裏で手を引く黒幕がいたのではないかと言う黒幕説が色々な専門家から盛んに言われるようになりました。黒幕説には実に多彩な人物が関与しており、ここでは代表的な説について紹介しておきます。

①斎藤利三関与説

光秀の家臣の斉藤利三が四国の長宗我部氏との関係性の重視から、光秀をそそのかして犯行に及んだ説

明智光秀が城主だった丹波亀山城跡

②足利義昭黒幕説

信長の庇護を受け上洛し室町幕府15代将軍に就任したが、その後不仲となり京から追放され信長没後、本能寺の変を実行させたと言う趣旨の手紙が発見。

③朝廷黒幕説

当時信長と朝廷との関係が対立していたとする見方から提示された説（天皇譲位、三職推任、改暦を迫って朝廷に圧力をかけた為に光秀に依頼か？）

④秀吉謀略説

信長の死で誰が一番利益を受けたかという推論から、まるで事前に知っていたかのような「中国大返し」仇討の鮮やかさから出た説

⑤家康・光秀共謀説

当時信長と家康は同盟を組んでいたが、信長が用済みとなった家康一行を光秀に暗殺させようとしたが、逆に信長が罠にはまった説

以上の黒幕説以外に毛利輝元、イエズス会、本願寺顕如、堺の商人等の説があります。

ただ、黒幕説も出尽くした感じがあり、根拠に乏しく、最近は再び光秀は単独で信長殺害に及んだのではないかと言う説が主流になってます。

来年の大河ドラマでは本能寺の変を明智光秀視点でどのように描いてくるかは今から楽しみです。やっぱり来年は光秀がくる！かな？

次回は菊池郡市みよし歯科の那須正義先生にバトンタッチします。

ご　訃　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

境　義紹 先生
令和元年11月24日　ご逝去　76歳

- 郡　市　名：熊本市
- 入会年月日：昭和61年12月23日

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることを教えてください。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものだとお考えですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第１種会員

岡本　昌裕
（オカモト　マサヒロ）

熊本市中央区神水1-25-11
北窪ビル１Ｆ
ステラデンタルクリニック

①インプラント、食育、予防です。
②患者さんの求めるものが一つの診療所で完結できる準備が出来ている事です。
③CBET、セレック、ノーベルガイドによるインプラント。
④地域に根ざした診療所になれるよう努力致します。

中津　由博
（ナカツ　ヨシヒロ）

八代市古閑中町1206-2

かえで歯科

①摂食嚥下、小児歯科、口腔ケア
②生涯おいしく食事ができる様、患者さんのサポートをする事
③大学卒業後障がい者歯科、歯科麻酔に残り、有病者、障がい者の方の治療を勉強してきました。開業後もこれらの知識を活かしていこうと思っております。
④地域貢献とスタッフの充実した生活のサポートができればと思います。

第３種会員

甲斐文一郎
（カイ　ブンイチロウ）

宇城市松橋町浦川内824-8

吉永歯科医院

山﨑　千晶
（ヤマサキ　チアキ）

山鹿市熊入町263-1

医療法人桜豊会大坂総合歯科

第４種会員

熊本パール総合歯科・矯正歯科・こども歯科クリニック SAKURA MACHI Kumamoto
熊本市中央区桜町3-10
SAKURA MACHI Kumamoto 2F 216区画

R．1.12

会　務　報　告

自　令和元年９月21日
至　令和元年10月22日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	９月21日	熊本市民病院完成記念式典及び内覧会（熊本市民病院）	伊藤会長
		第１回各郡市会長・専務理事連絡会議 （１）令和２年度熊本県予算に対する自民党熊本県会長への要望 （２）タウンミーティング（３）女性歯科医師への支援　ほか	伊藤会長他、松本常務理事を除く常務理事以上全役員
	24日	第５回理事会 【承認事項】 （１）新入会員の承認（２）後援名義の使用依頼 【議　　題】 （１）令和３年度九地連公募研究事業テーマ（２）県歯科医師会共済互助入院給付金 （３）歯科用製品等推薦申請書　ほか	伊藤会長他全役員
	25日	支払基金Web会議（支払基金）	椿副会長
	26日	第６回日歯理事会（日歯会館）	伊藤会長
	28日	九州各県臨時専務理事会（福岡県歯会館）	牛島専務理事
	30日	新樹会役員との意見交換会	椿副会長、牛島専務理事、宇治常務理事、新樹会役員４名
	10月１日	第７回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）「九州歯科大学同窓会ハンズオンセミナー in熊本」案内状の同封 （３）伊東歯科口腔病院講演会のニュースレター掲載　ほか	伊藤会長他常務理事以上全役員
	４日	九州厚生局及び支払基金との意見交換会（熊本市）	伊藤会長、椿副会長、牛島専務理事、舩津・野田理事、宇治社保顧問
	８日	第67回全国調停委員大会（東京国際フォーラム）	前野会員
	９日	第816回支払基金幹事会（支払基金）	伊藤会長
		将官歓迎会（ニュースカイ）	伊藤会長
	10日	月次監査　９月末会計現況監査	増田・水上監事
		在宅医療多職種チーム力向上研修会（菊陽町光の森町民センター）	松本常務理事
	12日	公益社団法人熊本県栄養士会「70周年記念祝賀会」（熊本テルサ）	伊藤会長
	13日	長谷宏一先生叙勲受章祝賀会（ソラリア西鉄ホテル福岡）	浦田顧問
	15日	第８回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）第８回熊本県歯科口腔外科研修会共催 （３）第16回熊本作業療法学会名義後援　ほか	伊藤会長他常務理事以上全役員
	18日	熊本空港航空機事故対応総合訓練（熊本空港）	宮井副会長他８名
	19日	部落差別をはじめあらゆる差別をなくす第48回熊本県人権教育研究大会(ウイングまつばせ)	宮井副会長
		牧野先生（喜寿）徳永先生（古稀）祝賀会および72回九州歯科医学大会第64回剣道大会壮行会（熊本市）	伊藤会長
	21日	電子決済打合せ	牛島専務理事
学　術	9月25日	第２回日歯学術委員会（日歯会館）	伊藤会長、馬場理事
	10月5日	九州各県学術担当者会事前打合せ会（長崎県歯会館）	伊藤会長、馬場理事、内野委員長
		九州各県学術担当者会（長崎県歯会館）	伊藤会長、馬場理事、内野委員長
	18日	学術委員会 （１）有料講演会（２）令和２年度事業計画	馬場理事、内野委員長他豊田委員を除く全委員
社会保険	9月28日	社会保険個別相談会　相談者：１名	舩津・野田理事、桐野委員長他４委員
		社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応（３）報告事項と今後の日程	椿副会長、舩津・野田理事、桐野委員長他11委員
	10月３日	保険集団的個別指導（ユースピア熊本）	舩津理事
	５日	九州各県社会保険担当者会（ホテル・レクストン鹿児島）	舩津・野田理事、桐野委員長
	12日	社会保険個別相談会（合志市）　相談者：１名	園田副委員長、市川委員
	17日	保険個別指導（KKRホテル熊本）	舩津理事、井口・市川委員
	19日	社会保険個別相談会　相談者：１名	野田理事、桐野委員長他３委員
		社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応（３）報告事項と今後の日程	椿副会長、舩津・野田理事、桐野委員長他11委員
地域保健	９月23日	第41回九州口腔衛生学会（北九州国際会議場）	郷原委員長
	24日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（１日目）（株式会社オカザキ） 受診者：14名	歯科衛生士２名
	25日	全国健康保険組合協会熊本支部職員研修会（全国健康保険協会熊本支部）	田上大輔会員
		協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（２日目）（株式会社オカザキ） 受診者：12名	歯科衛生士２名
	26日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（社会福祉法人泗水福祉会） 受診者：22名	歯科衛生士３名
	29日	ヘルＣキャンペーン無料歯科相談（山鹿市）（山鹿市健康福祉センター）	山鹿市会員
	10月４日	第１回県後期高齢者医療運営協議会（熊本県市町村自治会館本館）	牛島専務理事
	５日	九州各県地域保健担当者会（沖縄県口腔保健医療センター）	長野・髙水間理事
	７日	健保連熊本連合会と歯科健診事業打合せ	椿副会長、牛島専務理事、松本常務理事、髙水間理事
	13日	ヘルＣキャンペーン無料歯科健診・相談（人吉市）（堤病院九日町診療所駐車場）	人吉市会員
	15日	県健康づくり県民会議（県民交流館パレア）	宮井副会長
		協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（大豊工業）　受診者：５名	歯科衛生士２名
	22日	地域保健小委員会 （１）Ｒ２年度事業計画・予算	長野・髙水間理事、赤尾副委員長

所管	日付	摘要	出務者
広　　報	10月５日	九州各県広報担当者会（福岡県歯会館）	神﨑理事、秋山委員長
	11日	広報小委員会 （１）第１校校正（２）追加原稿編集（３）10月日程確認	神﨑理事、秋山委員長他全委員
	17日	NHKテレメッセくまもと事前打合せ （１）11月19日収録・放送分内容	神﨑理事
	18日	笑顔ヘルＣ写真コンクール審査会	神﨑理事他４委員
	21日	広報小委員会 （１）第２校校正（２）Ｒ２度事業計画案・予算案	神﨑理事、秋山委員長他全委員
学校歯科	９月24日	むし歯予防対策事業打合せ	宮井副会長、石井理事
	10月２日	日学歯第98回臨時総会（東京都）	石井理事
	16日	第２回生徒保健委員連絡協議会（市民会館）	宮井副会長
		学校歯科小委員会 （１）むし歯予防対策事業（２）各郡市担当者会議 （３）歯及び口腔の健康づくり推進に係る研修会　ほか	宮井副会長、石井理事、高田委員長、宮﨑副委員長
	17日	第83回全国学校歯科保健研究大会（１日目）（山口市民会館・ホテルかめ福）	伊藤会長、石井理事
		県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター）	西野会員
	18日	第83回全国学校歯科保健研究大会（２日目）（山口市民会館・ホテルかめ福）	伊藤会長、石井理事
医療対策	９月27日	県警との協議会（熊本市）	伊藤会長、宮井副会長、牛島専務理事、永松常務理事、椿理事、添田・町田副委員長
	10月３日	医療対策小委員会	永松常務理事、椿理事、岡田委員長
	８日	県医療事故調査等支援団体連絡協議会（ホテル日航熊本）	椿理事、岡田委員長
	16日	医療相談	永松常務理事、椿理事、岡田委員長
	18日	医療対策委員会 （１）事例報告検討（２）各郡市医療相談担当者会（３）委員提出協議題　ほか	永松常務理事、椿理事他全役員
	19日	九州各県歯科医療安全対策担当者会（福岡県歯会館）	椿理事、岡田委員長
センター・介護	９月26日	センター出務衛生士向け研修会打合せ （１）研修会日程・内容	松本常務理事、五島理事、蔵本歯科医師
	28日	センター・介護委員会 （１）多職種連携に係る研修会及び今後の研修会における役割分担 （２）口腔保健センター業務報告（３）理事報告　ほか	松本常務理事、五島理事、大坂副委員長他４委員
	30日	はなぞの学苑健診（はなぞの学苑）　健診者数：53名	古田・蔵本歯科医師
	10月５日	九州各県地域保健担当者会（沖縄県口腔保健医療センター）	松本常務理事、五島理事
	８日	第１回県社会福祉審議会保健福祉推進部会（KKRホテル熊本）	椿副会長
厚生･医療管理	９月27日	歯科衛生士合同就職説明会反省会	工藤理事、牧委員長、池嶋副委員長
	10月４日	菊池郡市健康診断（菊池郡市医師会立病院）	
	５日	八代健康診断（八代市医師会健診検査センター）	
		九州各県医療管理担当者会	宮井・椿副会長、牛島専務理事、永松常務理事、工藤理事他全委員
	10日	菊池郡市健康診断（菊池郡市医師会立病院）	
	11日	菊池郡市健康診断（菊池郡市医師会立病院）	
	12日	八代健康診断（八代市医師会健診検査センター）	
医療連携	９月27日	回復期病診連携個別説明会　参加者：１名	宇治常務理事、三森理事
	27日	医療連携小委員会 （１）回復期医科歯科連携仕様書確認（２）保団連地域医療交流会 （３）熊大病院緩和ケアセンター広報誌	宇治常務理事、三森理事
	10月４日	医療連携委員会 （１）令和元年度回復期医科歯科連携事業（２）保団連九州ブロック （３）熊大緩和ケアセンター冊子　ほか	宇治常務理事、三森理事、太田委員長他全委員
	17日	熊本県医療・保健・福祉連携学会第３回企画委員会	松本常務理事
学　　院	９月27日	歯科衛生士会合同就職説明会反省会	林学院長、牧・秋山副学院長、弘中教務部長
	10月８日	第１回学院入学試験委員会	伊藤会長、林学院長、宮井・椿副会長、牛島専務理事、牧･秋山副学院長、弘中教務部長
	９日	学院臨時職員採用面接	林学院長、牛島専務理事
	19日	学院高校推薦・指定校推薦入学試験　受験者：41名（高校：24名、指定校：17名）	林学院長、椿副会長、牛島専務理事、牧・秋山副学院長、弘中教務部長

笑顔ヘルＣ写真コンクール　受賞作品

会長賞

「おいしー！」

平田　紘美

お花見で食べたおやつは
美味しいね

優秀賞

「満開」

森　明日佳

奨励賞

「年の差87歳」

速水えりか

佳　作

其の1

会員専用グループ保険制度のご案内

保険料がさらに
お安くなりました

配偶者も1000万円
まで加入OK

最高「3000万円」の
保障が無診査で加入OK

1年更新で配当金は
毎年加入者へ還元

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

引受保険会社 幹事 メットライフ生命

其の2

既に下記の保険会社でご加入の会員様も保険料納付は団体収納扱いでお願いします！

下記保険会社と団体収納契約をしている為、会費明細引きがご利用可能。

個人加入の保険料が団体割引でお安くなり、保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命　アメリカンファミリー生命　住友生命　SOMPOひまわり生命
第一生命　日本生命　富国生命　明治安田生命　メットライフ生命

[県歯事務局 事業課　TEL：096-343-8020]

新時代、令和
福岡歯科大学は、生まれ変わります。

令和2(2020)年度入試より特待生制度のリニューアル

専願特待生制度の新設…本当に福岡歯科大学に入学したい受験生に対しての特待生制度に変更

学生納付金(6年間)が **1,980万円**に!≪通常2,630万円≫

詳細は、本学HPにて

令和2(2020)年度 入試日程

● 一般入試A日程	令和2年	2月 1日(土)
● センター利用入試Ⅰ期	令和2年	2月 4日(火)
● 一般入試B日程	令和2年	3月 7日(土)
● センター利用入試Ⅱ期	令和2年	3月 7日(土)
● AO入試Ⅱ期	令和2年	3月20日(祝)
● センター利用入試Ⅲ期	令和2年	3月20日(祝)

令和2(2020)年度学士等編入学試験〈大学2年次に入学〉

● 第1回	令和1年	11月17日(日)
● 第2回	令和2年	3月20日(祝)

2020年秋
新病院開院予定

学校法人福岡学園　福岡歯科大学 学務課入試係
TEL.092-801-1885　FAX.092-801-0427
https://www.fdcnet.ac.jp/　Eメール nyushi@college.fdcnet.ac.jp

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
December 2019 No.762

8020 歯からはじめる 笑顔ヘルC

主な行事予定 1 January

4日(土)	事務局仕事始め
7日(火)	第13回常務理事会
21日(火)	第14回常務理事会
25日(土)	第２回各郡市会長・専務理事連絡会議
28日(火)	第９回理事会

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集者のつぶやき

11月初旬に日本全国を熱気に包んだラグビーワールドカップが終わったせいか、あっという間に冬が到来したかのような冷え込み具合ですが皆様対策はなされていますか？

忘年会シーズンで誰もがご多忙かと思われますが、せっかくの冬のイベントが「寝込んでいるうちに終わってしまった…」とならないようにしたいものです。

最近はインフルエンザも流行しているようです。

こまめな歯磨きが風邪やインフルエンザの予防になると言われています。

患者さんを通じてどんどん世間にも広めていこうとスタッフと張り切ってはいますが、私は寒さに弱いので正直言うと何もかも放り出してミノムシになりたい…

(H. M)

熊本県ご当地よ坊さん

■発行日／2019年12月5日発行　■発行人／伊藤　明彦
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷